

西三河支部 令和元年度幸田町総合防災訓練に参加

- ・日時：9月7日（土） 午前9時
- ・場所：幸田町防災広場（愛知県額田郡幸田町）

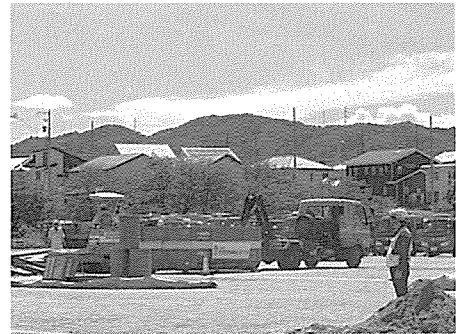
西三河支部は、「令和元年度幸田町総合防災訓練」に訓練参加機関として、支部長梅谷岳志氏ら支部会員が参加しました。

本防災訓練は、『大規模地震対策特別措置法、災害対策基本法及び幸田町地域防災計画に基づき、幸田町、各行政機関、民間企業、自主防災会、ボランティア団体及び一般住民が総ぐるみで、その発生が懸念されている南海トラフ巨大地震を想定し、総合的かつ実践的な防災訓練を実施し、地震災害における早期対応、相互協力体制の確率及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。』です。

訓練は災害対策本部の設置、情報収集伝達、危険箇所点検、救護所設置他、実践さながらの訓練が実施されました。訓練参加機関は54機関、約500人が参加し、その中で西三河支部は、幸田町環境課の「道路復旧・ガレキ除去訓練」を行い、会員企業の車両・重機による災害廃棄物等のガレキの除去、倒壊した建物により道を塞がれた道路の応急復旧を行い、車両通行を可能にする訓練を行いました。



重機によるガレキの除去



車両は中部保全（株）のトラック